

商品原価を安くする 現地決済型輸入！

本当の原価を知る事で、最終原価を最小限に抑える。
会社の利益につながる輸入スキーム



J.C.C. Co.,Ltd

昨今の輸入のトレンドは？

昨今はここ2～3年の為替の影響で、輸入商品が安く輸入出来なくなっています。

数年前の1 US\$ = 78円は夢のような話で、最近は110～125円と輸入商品を扱う業種にとっては、厳しい時代となっています。

そんな中でアパレル企業、アパレル小売企業の中では、いかに安く商品を日本にいれるかを模索しています。

生産地を第3力国に移動し、関税の免税が出来る国での生産は1つのトレンドです。但し生産期間が90～120日と長い上に、作れるものが限られ、原材料はいまだ他の国からのインポートで補っています。大手の定番商品は良いでしょうが、ヤングマーケットやショップ型のアパレル企業ではフィットしません。

やはり従来何十年もの日本向けに生産をしていた大国である中国は捨てられないでしょう。

その中でもう1つのトレンドはいわゆる直貿（直接貿易）です。これは現在取引している信頼の置ける工場と、全ての中間企業を排除し直接メーカーと、小売店、アパレル企業が輸入するスタイルです。

ここ最近はこの直貿が激増し、いかに安く仕入れが出来るかを行っています。全体の仕入れの10%未満から、20～30%になっている企業も少なくありません。

商品原価とは？

商品の原価の捉え方は、会社様により様々です。どこまでを商品原価とするかは考え方により変わりますが、商品にまつわる経費を含めた商品原価を考えて見ます。

輸入商品の場合の原価

- ①商品代金 (例 : FOB US\$ 10.00-) ⇒ これが海外から買う商品のみの原価
プラス付属品やアクセサリー・下札・ネームなど。
- ②輸入経費 海上運賃・取扱い手数料・港湾搬出諸掛り・通関手数料・国内配送料
関税・消費税と以上のコストがかかります。
- ③L/C L/C 開設手数料・ユーナンス金利・アメンド費用・為替リスク
もしくは海外送金(T/T送金) の送金手数料

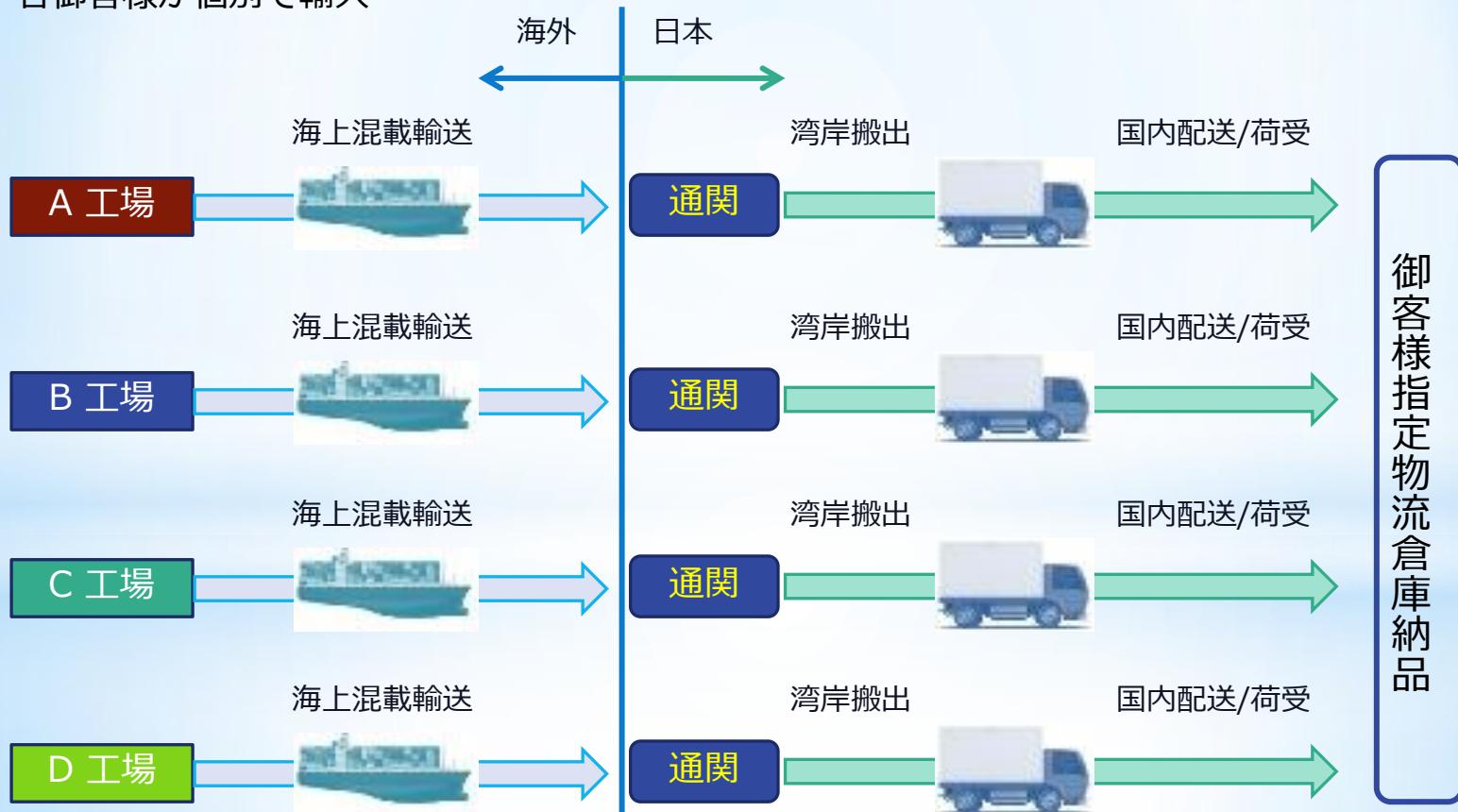
上記これらの① + ② + ③ = 商品原価と考えます。

例 : FOB 商品代金 + 輸入諸掛 + L/C費用 + 金利 + 他費用 = 商品原価

* 会社により上記以外に、店舗配送料・倉庫保管料や、本部配分費などをプラスする会社もあります。

通常の輸入は？

各御客様が個別で輸入

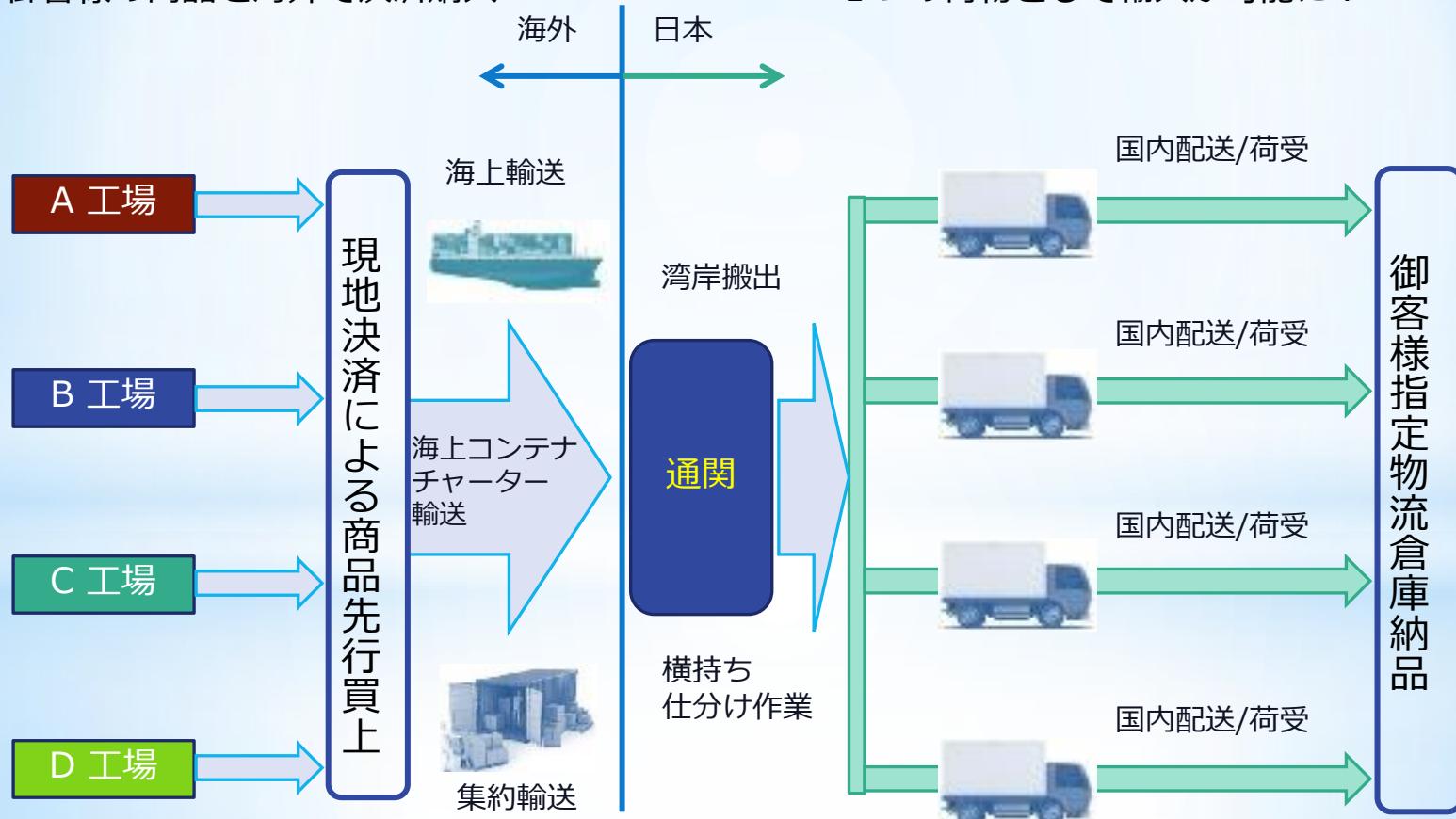


1回の輸入で、それぞれの会社が、海上運賃・輸入諸掛手数料・湾岸搬出諸掛けり
・通関料・国内配送料を負担しています。他に関税・消費税等掛かります。

現地決済型輸入とは？

各御客様の商品を海外で決済購入

1つの荷物として輸入が可能に！



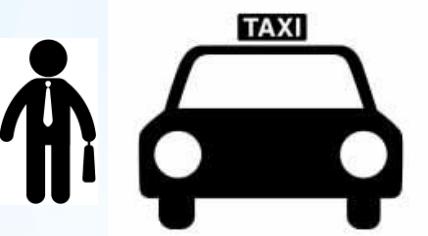
現地決済により、商品ボリュームが出て、且つチャーター便で輸送でき、通関もスムーズ。輸入料金の集約が出来、結果的に安い原価となる。

わかりやすい例（現地決済の構造）

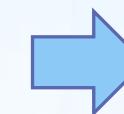
通常例



1人でタクシーに乘ります



小型タクシーで3キロ先の目的地へ



料金1000円



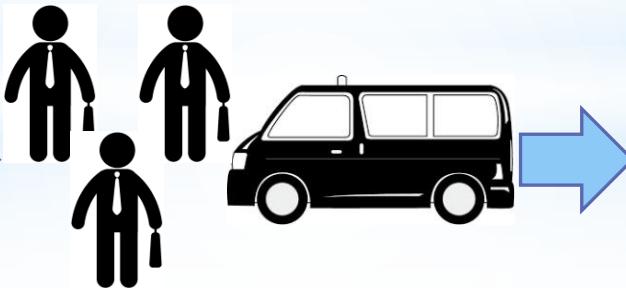
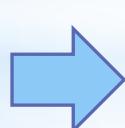
1人1000円負担

1人でタクシー代金を払います

お得！



3人でタクシーに乘ります



大型タクシーで3キロ先の目的地へ

料金1500円



1人500円負担

3人でタクシー代金を払います

知っている人（1B/L）ではないと、同じタクシーには乗れません。また目的地が同じでないと同じ大型タクシー(40FT CY チャーター)には乗れません。それも同じ時期（毎週各地よりあり）でないと乗れません。これを我々は実現します。

料金について

輸入に掛かる料金について。

図で解説してある通り、我々の輸入スキームは、無駄を無くし、より安く、より早く、より確実に輸入をする事で、お客様へご提供出来る料金が日本で最安値をめざしています。

安い理由

- ①本来は混載便だが、現地決済で集約し常に荷物をチャーター便にて輸送できるメリット
- ②本来自社荷物だけであれば20FTのコンテナが、集約する事により40FTで輸送できるメリット
- ③一度現地決済をする事により、1つの荷物として出荷できるメリット
- ④日本での受取も1つの受取でスムーズになるメリット
- ⑤チャーター便であれば、混載便よりも日本着後早く出せるメリット

上記により日本で最安値で海外からの荷物を輸入出来ます。

具体的な経費削減シミュレーション

輸入金額経費削減シミュレーション

輸入金額	1%ダウン	2%ダウン	3%ダウン	4%ダウン	5%ダウン
経費削減率					
1億円	100万	200万	300万	400万	500万
2億円	200万	400万	600万	800万	1,000万
3億円	300万	600万	900万	1,200万	1,500万
4億円	400万	800万	1,200万	1,600万	2,000万
5億円	500万	1,000万	1,500万	2,000万	2,500万
6億円	600万	1,200万	1,800万	2,400万	3,000万
7億円	700万	1,400万	2,100万	2,800万	3,500万
8億円	800万	1,600万	2,400万	3,200万	4,000万
9億円	900万	1,800万	2,700万	3,600万	4,500万
10億円	1,000万	2,000万	3,000万	4,000万	5,000万
11億円	1,100万	2,200万	3,300万	4,400万	5,500万
12億円	1,200万	2,400万	3,600万	4,800万	6,000万
13億円	1,300万	2,600万	3,900万	5,200万	6,500万
14億円	1,400万	2,800万	4,200万	5,600万	7,000万
15億円	1,500万	3,000万	4,500万	6,000万	7,500万
16億円	1,600万	3,200万	4,800万	6,400万	8,000万
17億円	1,700万	3,400万	5,100万	6,800万	8,500万
18億円	1,800万	3,600万	5,400万	7,200万	9,000万
19億円	1,900万	3,800万	5,700万	7,600万	9,500万
20億円	2,000万	4,000万	6,000万	8,000万	1億
25億円	2,500万	5,000万	7,500万	1億	1億2千5百万
30億円	3,000万	6,000万	9,000万	1億2千万	1億5千万
40億円	4,000万	8,000万	1億2千万	1億6千万	2億
50億円	5,000万	1億	1億5千万	2億	2億5千万
100億円	1億	2億	3億	4億	5億

* 左記の通り中小企業であればある程、輸入経費削減の可能性が広がります。それは何故でしょう？

- ・中小企業は輸入量が少ない為、交渉力に欠け、輸入経費が割高になりがちです。

- ・中小企業は輸入量が少ない為、混載便利用の輸入になります。よって輸入経費が高くなります。

- ・最大の原因是輸入スケールが違うからです。この方法で輸入経費が格段に削減出来ます。

色部分は容易に改善し、削減出来ます。

支払いについて

支払い方法には通常下記の様なケースが想定されます。

- ①商社介入により、商品支払い期間を30日～120日位までの間で購入しているケース
- ②L/C決済により、ユーザ NSを付け支払いを30日～90日位までの間で決済するケース
- ③単純に仕入先に対し一定の支払い期間を設けているケース
- ④T/T送金にて30日以内に直接工場に決済しているケース

現地決済型輸入の場合の支払いは？

工場への支払い（お客様に変わり先行支払いします）

工場には商品出荷後、必要書類・お客様からの商品に対して問題が無いと言う承諾を得られた時点から商品代金の支払いを7日間以内に決済します。工場からの要望があれば、増增值税の支払いも同時点でお支払いします。

御社が行う通常の商品代金の支払い（単価も安く、支払いサイトもそのままで）

個別に商談させて頂き、毎月の荷物の量や、金額のお取組により決済条件を決めさせて頂きます。現在より良い条件・安価な輸入をお約束します。支払いについてもB/L発行日より30日～120日迄の期間は可能です。

よくある質問Q&A

Q:為替のリスクはどうなるんですか？たとえば\$1.00=115円の時に商談してオーダー貰ったのですが、納品は2ヶ月後で、その時の為替が120円になった場合は？

A:安心して下さい。オーダー時点で為替予約をして、115円の為替で決済出来ます。利益は確定出来ます。

Q:荷物が少なくいつも混載便ですが、安くなるんですか？

A:もちろんなります。我々が一度現地決済する事により、荷物は大きな量になります。タクシーに乗って1人で支払うのと、3人で乗って割り勘で払う事を想像して下さい。

Q:現地決済って安心出来るんですか？

A:中国HAOYI GROUPは約4000億円の総合商社です。かつ中国の国営会社も保有しているグループです。主に不動産・金融・物流・アパレル工場も10社程保有しています。お客様に変わり先に決済（現地先行支払い）業務ですので、お客様が先にお金を口スする事はありません。

よくある質問Q&A

Q:商品の所有権の流れと保証はどうですか？

A:基本は工場から中国での決済で1度移ります。日本に輸入後もう1度移動し、お客様に納品した時点でお客様の所有権になります。各所有権の段階での責任保証になります。

Q:商品に問題があった場合の対処はどうなりますか？

A:基本的に弊社は輸入及び物流のお手伝いですので、商品責任はありません。但しお客様の倉庫到着後商品に問題があった場合は、一時的に工場への支払いを延期または中止する事は出来ます。あくまでも商品がA品である事をお客様が判断して頂き、良品の報告を受けてからの支払いとなります。これは自己輸入も同じではないでしょうか？事前に三社間契約を締結します。

Q:商品に問題があり返品したい場合はどうなりますか？

A:商品責任は基本工場側ですので、きちんと話し合いをして頂き、条件等がきまりましたら、シップバック（輸出）のお手伝いはさせて頂きます。また修理をして再度輸入する場合も同じ様な手順で詳細が決まり次第、輸入のお手伝いはさせて頂きます。

よくある質問Q&A

Q:L/Cの枠は関係ありますか？またT/T（外貨送金）をする必要はありますか？

A:L/Cの枠は関係ありません。T/Tでの外貨送金の必要もありません。基本は国内決済です。

よって経理の煩雑なL/C業務、アメンド費用、ユーザーナンス手数料なども発生しません。

Q:L/Cの様に輸入与信や、会社の与信枠の設定はあるのですか？

A:銀行の与信とは全く関係ありません。新しい枠としてご利用頂けます。我々の審査基準は別途あります。

Q:荷物の指定物流倉庫到着は遅くなりませんか？

A:なりません。逆に早くなる可能性があります。通常混載便は通関後、荷物を仕分けし、何十社もある荷物を順番に作業します。我々の基本はCY(チャーター便) の為通関はスムーズで、かつすぐにトラックに積み替える事が可能です。

Q:商品はどこで作っている商品でも、アイテムもなんでも大丈夫ですか？

A:基本的に大丈夫です。中国全土でこのサービスを開始しています。

またアイテムはアパレル商品・寝具・アクセサリー・小物まで扱っています。他アジア地域ヨーロッパやアメリカへのサービスは今後になります。

よくある質問Q&A

Q:今現在このスキームを実行しているアパレル企業や、アパレル小売店はありますか？また何か問題はありましたか？

A:現在このサービスを開始して1年半が経過しました。お客様からは断然輸入コストが安くなったと評価を頂いております。量も金額も増加しております。また目立った問題点も出ていません。今後このサービスを皆さんに御提供したいと考えております。最終的には会社の利益に繋がる輸入スキームです。

2016年現在取引実績会社

AEON GROUP 株式会社イオンリティール

AEON GROUP 株式会社COX

株式会社 同志社

株式会社 ベイクルーズ

株式会社 GEO ゲオ

アパレルメーカー各社

アパレルOEM・ODM会社 他多数